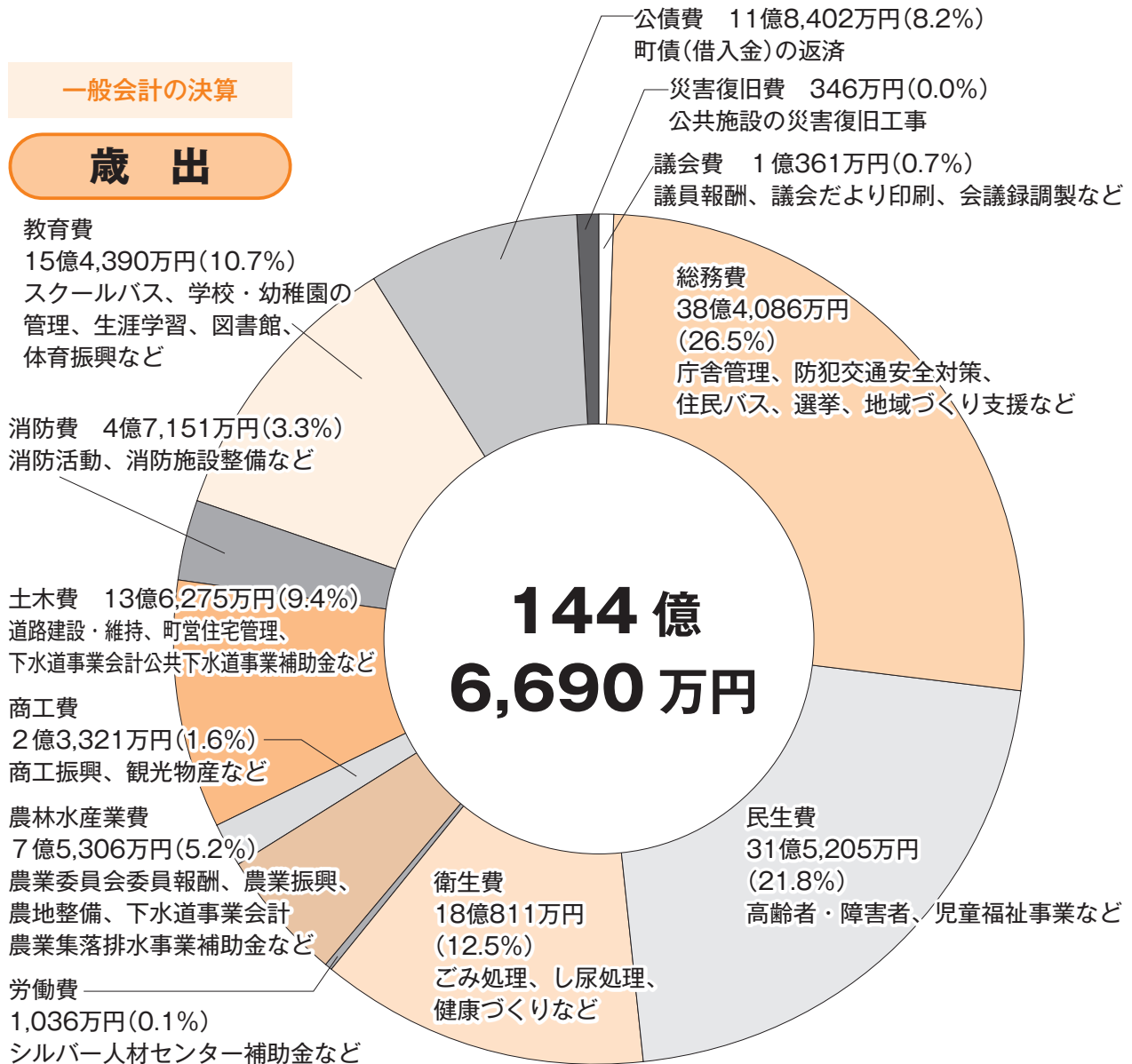


令和2年度 決算の概要

令和2年度の一般会計と各種特別会計の決算が、美里町議会9月会議において原案どおり承認されました。令和2年度の決算の概要についてお知らせします。

一般会計の決算

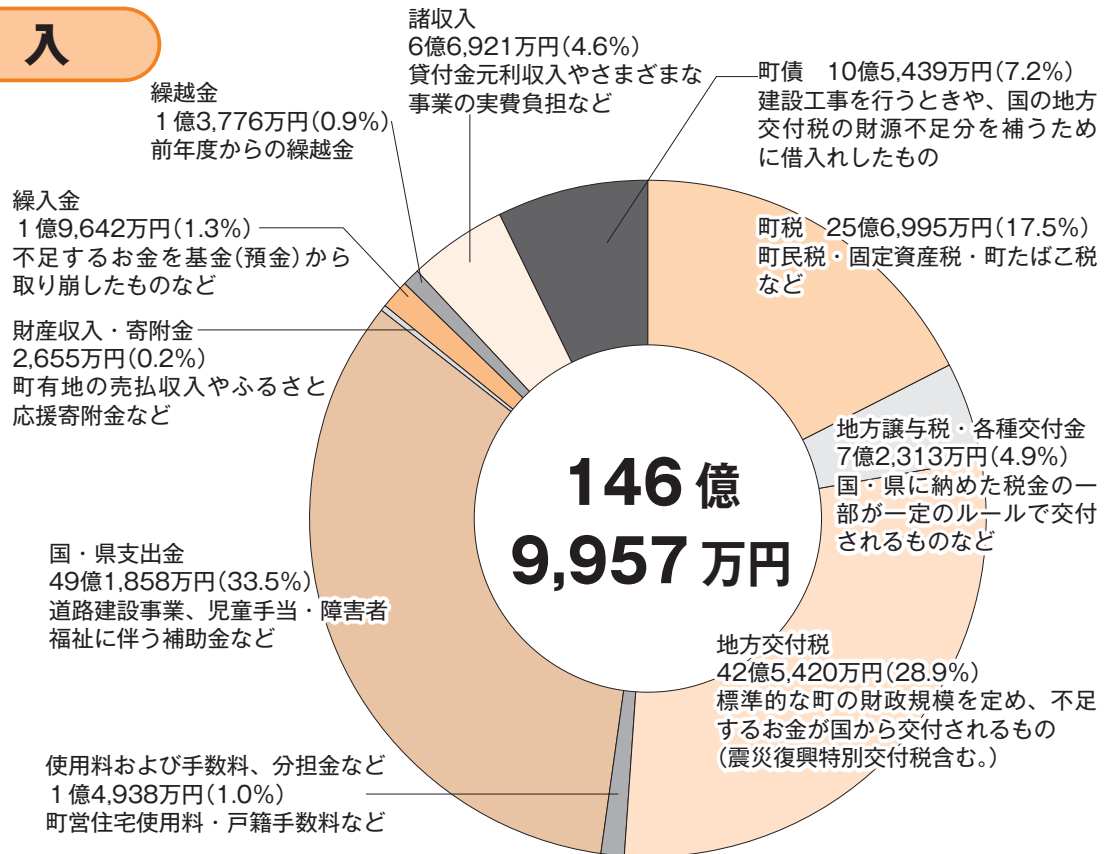
歳 出



新中央クリーンセンターや公共施設の太陽光発電設備を整備

令和2年度は、建設事業費で北浦第二住宅・山の神住宅の建設工事を実施したほか、大崎地域広域行政事務組合の新中央クリーンセンターの整備に必要なお金を負担しました。また、指定避難所に位置付けている中央コミュニティセンター、駅東地域交流センター、健康福祉センターに太陽光発電設備と蓄電設備を整備することにより、災害等による停電時にも、発電・電力供給の機能発揮が可能になり、避難所機能が維持できるようになりました。

歳入



歳入のうち町税は25億6,995万円で、前年度と比較して3,260万円の減となりました。地方交付税では、新中央フリーセンター整備の財源として、震災復興特別交付税が大幅に増加しています。

令和2年度決算の実質収支額

歳入146億9,957万円－歳出144億6,690万円－繰越財源2,711万円＝2億556万円

歳入から、歳出と繰越財源(次年度へ繰り越すべき財源)を差し引いた実質収支額は、2億556万円となり、そのうち1億500万円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で4.7%の増、後期高齢者医療特別会計で2.8%の増、介護保険特別会計で3.1%の増となりました。

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	27億4,675万円	26億9,320万円	5,355万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,814万円	2億9,660万円	154万円
介護保険特別会計	25億9,612万円	24億6,923万円	1億2,689万円

公営企業会計の決算

◇水道事業会計の決算状況

【収益的収支】 収入額 8億2,337万円(消費税等抜き 7億5,428万円)
 支出額 7億8,140万円(消費税等抜き 7億2,593万円)
 差引額 消費税等抜きで2,835万円の黒字

【資本的収支】 収入額 1億5,115万円
 支出額 3億7,879万円
 差引額 2億2,764万円の不足

差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債積立金で補てんしました。

◇病院事業会計の決算状況

【収益的収支】	収入額	6億3,309万円(消費税等抜き6億2,866万円)
	支出額	6億9,170万円(消費税等抜き6億8,771万円)
	差引額	消費税等抜きで5,905万円の赤字 累積欠損金の額は、5億5,848万円となりました。
【資本的収支】	収入額	7,938万円
	支出額	1億2,270万円
	差引額	4,332万円の不足 差引不足額については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

◇下水道事業会計の決算状況

【収益的収支】	収入額	10億3,868万円(消費税等抜き9億3,226万円)
	支出額	9億3,536万円(消費税等抜き9億1,774万円)
	差引額	消費税等抜きで1,452万円の黒字
【資本的収支】	収入額	12億1,142万円
	支出額	18億2,558万円
	差引額	6億1,416万円の不足 前年度同意済企業債1億1,420万円および翌年度へ繰り越される繰越工事資金3,528万円を除いた差引不足額7億6,364万円については、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金で補てんしましたが、なお不足する額については、令和2年度同意済企業債の未発行分で措置しました。

町債及び企業債の借入金・償還額・年度末残高

区 分	令和元年度末残高	令和2年度借入額	令和2年度元金償還額	令和2年度末残高
一般会計	109億1,874万円	10億5,439万円	11億3,021万円	108億4,292万円
水道事業会計	33億1,475万円	1億6,700万円	2億2,242万円	32億5,933万円
病院事業会計	4億2,885万円	1,700万円	1億128万円	3億4,457万円
下水道事業会計	69億8,350万円	9億1,750万円	6億3,260万円	72億6,840万円
合 計	216億4,584万円	21億5,589万円	20億8,651万円	217億1,522万円

一般会計の令和2年度末の町債残高は、令和元年度末残高に比べて7,582万円の減額となり、108億4,292万円となりました。このうち、地方財源の不足に対応するために従来の交付税に代えて発行される臨時財政対策債の占める割合は44.5%となり、前年度と比べて1.1ポイント減少しています。

町全体の町債及び企業債残高は、前年度と比べて6,938万円の増額となりました。

基金の年度末残高・増減額

区 分	令和元年度末の現在高 (A)	令和2年度末の現在高 (B)	増減額 (B)－(A)
一般会計 財政調整基金	10億6,722万円	15億7,469万円	5億 747万円
一般会計 減債基金	2億3,086万円	2億2,110万円	△976万円
一般会計 その他の基金	17億 525万円	15億4,899万円	△1億5,626万円
国民健康保険特別会計 財政調整基金・出産費 資金貸付事業基金	9億2,774万円	8億3,651万円	△9,123万円
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	3億3,927万円	4億1,994万円	8,067万円
合 計	42億7,034万円	46億 123万円	3億3,089万円

国民健康保険特別会計の基金現在高は減額となりましたが、一般会計と介護保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で3億3,089万円の増額となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて健全化のための計画策定や行財政上の措置が講ぜられることを目的に制定されたものです。この法律の規定により、美里町の令和２年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果についてお知らせします。

１ 健全化判断比率

区 分	令和元年度	令和２年度	前年度対増減	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	－	－	－	14.02%	20.0%
連結実質赤字比率	－	－	－	19.02%	30.0%
実質公債費比率	8.3%	7.5%	△0.8	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率	37.7%	26.5%	△11.2	350.0%	－

◇実質赤字比率

一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。

◇実質公債費比率

町がその年度に返済すべき公債費等の金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります。(25%超で黄信号、35%超で赤信号)

◇将来負担比率

町が将来にわたって抱える負担すべき金額(町債の借入れやリース契約などで支払いが確定している金額)が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。(350%超で赤信号)

２ 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の水道事業会計、病院事業会計および下水道事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

都市計画税の使い道（令和２年度歳入 都市計画税 9,829 万円）

町では、公園や街路、下水道など、都市計画事業に使用する目的で都市計画税を徴収しています。令和２年度は9,829万円を徴収し、都市計画事業１億9,351万円の財源の一部として使用しました。不足分は一般財源を充当しています。

都市計画事業	決算額
下水道事業会計への補助金 (これまで整備した公共下水道整備事業に係る企業債償還金)	１億6,011万円
これまで整備した都市計画事業に係る町債償還金	3,340万円
合 計	１億9,351万円